

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 2

2014 No.713

3 はじめの言葉

4 情報戦まった中

試される日本の秘密力

田原文夫

特定秘密保護法に関連して、国民の知る権利論と国民を守るための国家秘密論が行き交っている。法案自体はすでに国会決議されてしまっている。今や、その運用をどうするかを真剣に議論する段階にある。しかし、マスコミ紙誌では連日「秘密保護法反対」を叫び続けている。反対論には、各界著名人が持論を展開する形で参加している。しかし、国家国民にとって国家秘密を持つことの是非については、今ひとつ迫力ある論じられ方にはなっていない。反対のための反対論になっているせいだろう。国家秘密の保護がない国が、世界中でどれくらいあるかをベースにしたマスコミ報道があってもいいだろう。

秘密とは何か、何が秘密なのか

特定秘密情報保護法で言う、秘密の定義で大変もめた。秘密をどう決め、どう保護するかも同様である。秘密とは、特定かどうかは別にして、どういうものなのかについて説明が足りない、と責められる。理由の一つが、秘密と公開の兼ね合いである。国民の知る権利との兼ね合いである。

情報に、秘密と公開と、相容れない部分があるのも特徴で、ある人にとって、どうでもいい情報が、別の人にとって、大切な情報になるのである。

久しぶりに、テレビでデモを見た。懐かしい風景だが、彼らは、情報公開を主張し、情報の秘密化に反対するが、反対の内容は千差万別だった。

10 情報社会を考える その41

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

市場原理の基本

需要と供給のバランスが市場原理の基本のはずである。アベノミクスは、デフレ脱却を目指すとして、大幅な金融緩和政策を実施し、市場への資金供給量を増やしてきているが、実経済社会にはその需要がない。その意味で、アベノミクスによる金融政策は完全に市場原理に反した政策であると言える。

結果、投下された資金は、実社会の金融需要に応えるのではなく、マネーゲーム社会の金融需要に応える形で機能している。要するに、金融市場での駆け引きという限りなく「賭博性」の強い金融取引の材料としてだけ機能している。

そこには、金融相場という、一見解るようで解らない一応の目安があるとされているが、その相場自体が、金融政策関係者というホンの一握りの人（人々？）の思惑で左右されるものだけに、実に不安定であり、頼りがない。

1 2 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その 36

水田 浩

オープンガバメント OG 2 機会開発者の登場

1.情報社会のスピード

EU の 10 のプロジェクトは、1994 年から 20 年経った現在（2014 年）には技術的にはすべて可能になったが、欧州連合（EU）の執行機関である欧州委員会が 2013 年 11 日に発表した電話・通信分野の市場統合に向けた包括的な提案に見るように、電話・通信分野は、まだ加盟国ごとに規制していて、EU 内全体での規制は統一されていない。また、携帯電話の国際ローミング（相互乗り入れ）手数料も廃止されていない（2013.9.12 日経）。このように、行政的にはまだまだ情報インフラは出来ていない。

世界的にみても、インターネットの利用者数は、年々増え続けて 2012 年で 24 億 9000 万人、2013 年が 27 億 4000 万人であった。実に、1 年間で 2 億人以上も増えている（図 1）。

この利用者の 1%（3000 万人）が毎日情報を入力しているとすれば、3000 万の情報が増えていることになる。世界的な情報インフラであるグーグルの推測したインターネット上の情報量は、「281 エクサバイト」（10 の 18 乗）となっている。

1 8 連載 アーキテクチャ論 (34)

ArchiMate2.0 テクノロジー層

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本稿では、オープングループのアーキテクチャ記述言語である Archimate[1]（アーキメイト）の技術層で使われるモデリング言語について紹介する。

■テクノロジー層の位置づけ

ArchiMate 階層は、表 1 に示すように、ビジネス層、アプリケーション層、テクノロジー層から構成されている。アプリケーション層では、ソフトウェアによってビジネス層を実現する。

テクノロジー層は、アプリケーション層で必要となる基盤サービスを提供する。

2 5 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 5 2 回 新聞／テレビが報道しないニュース

根本忠明

最近、新聞／TV が報道しないニュースが増えている。ウェブサイトと比較すると簡単にわかる。社会的な関心を集めている出来事について、大手新聞社や TV 局は、何故かだんまりを決めこんでいる。まさに、新聞／TV の危機的状況といってよい。今回は、この問題について紹介することにしたい。

若者の新聞／TV 離れが止まらない。いろいろな原因が考えられるが、その中でも大きな問題は、世間で話題になった事件や事故でさえも、わが国の大手新聞社や TV 局が報道

を差し控えようとしていることにあり、筆者は感じている。

2 8 続インテリジェンスへのいざない 49

猪正確な情報の誠実かつ中立的な提供者

今井 武

情報を受ける側の「自己責任」が盛んに指摘される今日の情報社会である。逆説的に言えば、いかに危うい情報が飛び交う時代になったかということでもある。記者の主張記事が大半であった一般マスコミが、原則「客観報道」を社是にしたのは、情報の受け手である読者のためではない。発信元であるマスコミの社内事情を重視したからだ。この基本姿勢は変わっていない。

3 1 一味違うウェブ検索

第四十話 「事典・辞書などの使い方」シリーズ

⑤白書を辞典として利用する

ぐうのうえぶへい

今回は、政府による白書類を事典として利用する方法を紹介する。白書は国政の各分野に関する毎年の発行される報告書であり、ウェブ上で初版から現在まで各年次版が閲覧できる。その内容に対して、マスコミや有識者らが、多様な見解を表明している。これらを比較参照しながら、事典として利用する方法を紹介する

3 3 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

☆☆

オンデマンド出版のご案内

本誌連載中の山本修一郎氏「アーキテクチャ論」が、オンデマンド出版されております。ご活用下さい。

詳しくは、WebCR ホームページをご覧ください。

「アーキテクチャ論」

山本修一郎 著

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

☆☆

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体認証利用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 aismの2007年度の事業計画	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報セキュリティ対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2008年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向選別	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港場建設とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安定期間と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp